



PROFILE		Satoshi Nakamura
平成21年 4月	総務省採用	
	総合通信基盤局電波部移動通信課	
平成23年 7月	情報通信国際戦略局宇宙通信政策課	
平成24年 8月	情報通信国際戦略局技術政策課	
	研究推進室	
平成25年 7月	現職	

情報通信国際戦略局  
国際協力課  
中村 聡史



PROFILE		Akio Yamamoto
平成18年 4月	総務省採用	
	情報通信政策局技術政策課	
平成18年 8月	総合通信基盤局国際部国際政策課	
平成20年 7月	情報通信国際戦略局情報通信政策課	
	情報通信経済室	
平成21年 7月	大臣官房総務課国会連絡室	
平成23年 9月	情報通信国際戦略局国際経済課	
平成24年 1月	東北総合通信局	
	東日本大震災復興対策支援室（併任）	
平成24年 4月	情報通信国際戦略局国際政策課	
平成24年 8月	現職	

情報流通行政局  
情報流通振興課主査  
山本 明央

## 国際業務の経験を積む

### 仕事内容

### ICT分野における国際業務

私が所属する国際協力課では、アジア地域をはじめ、中東地域、アフリカ地域において、我が国が強みを持つICTによる社会課題の解決に取り組むとともに、我が国のICTシステムの各国のニーズを踏まえた海外展開の促進を図っています。その中で私は中央アジア、中東、アフリカと非常に広い地域を担当しています。

主な業務は、各国が持つ課題に対して、我が国のICTを活用することで解決できないか検討し、ICTの導入可能性について調査・実証実験を実施しています。また、外国政府機関等に日本の技術を紹介するセミナーの開催や、ICT分野の二国間協力の強化のため省幹部と先方政府要人との会談のアレンジ等を行っています。これらを円滑に進めるため、在外公館の協力を得つつ、民間企業や外務省等と緊密に連携をとりながら日々、業務に取り組んでいます。

### 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

### 責任とやりがい

私が入省して最初に担当した業務は、次世代の移动通信システムの国際標準化等に関するものでした。業務上、専門的な知識の修得は必須でしたが、何より苦勞したことは語学(英語)でした。入省2年目には、ジュネーブで開催された国際電気通信連合(国連の専門機関)の国際会議に出席する機会があり、ICT分野を所掌する各国の政府関係者が集まり、無線通信に関する国際的規則や無線通信の技術・運用等に関する議論を行いました。日本の代表として出席する会議ですので責任を感じますが、総務省では若手職員でもこのような貴重な経験を積むことができます。

つい先日、この移动通信システムを導入した商用サービスが開始されるニュースを見たとき大変嬉しく思いました。総務省が所掌するICT分野は他分野の技術と比べ進歩が早いので、自分自身が携わったものが世の中に出るまでの期間は短く、やりがいを感じやすいのではないかと思います。



職場の登山仲間と一緒に、日本百名山を制覇すべく季節を問わず登山をしています。時には金曜日業務終了後に山に向い、土曜日日の出とともに登山を開始し、夕方にはテントや山小屋でお酒を飲みながら談笑します。山頂から景色は最高ですし、草木の香り、鳥のさえずりは日頃の疲れを癒やしてくれます。



## とある一週間

- 月曜日**  
所属課のミーティングに出席し、今週一週間の業務内容を共有。
- 火曜日**  
アフリカ政府要人の来訪に関する幹部等への説明資料を作成。
- 水曜日**  
アフリカでのICT関連の調査実施に関して、在外公館等と調整。
- 木曜日**  
中央アジアで実施中の実証実験に関して、今後の対応方針を検討。
- 金曜日**  
アフリカ政府要人の来訪対応及び視察先への同行。

## ICT利活用で元気な日本を

### 仕事内容

### くらしをもっと便利に、もっと豊かに

現在、ICTは私たちの生活に欠かせない存在となっています。例えば、スマートフォンで、日々友人とやりとりし、コンテンツを始めとする様々なサービスを使いつつ、どこでも手に入れることができるなど、個人の利用は進展しています。一方で、ICTを更に有効に活用することで、暮らしをもっと便利に、もっと豊かになる分野がまだまだあります。

所属する情報流通振興課は、このような問題意識のもと、地方創生、少子高齢化を始めとする諸課題解決に貢献すべく、ICT利活用に関する企画・立案を行っており、その中で、私は主に関係部署との調整やとりまとめの業務にあたっています。

調整、とりまとめは一言で言えば、各担当に対応をお願いする「お願い」の仕事です。急に作業を依頼することもあるため、時として担当の方にある程度我慢してもらわなければならないこともあります。その中で、職員が目指す政策目標にどうすれば近づけるのか日々腐心しています。

### 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

### 多くの出会いと自由闊達な雰囲気

入省して10年目に突入し、これまで、国際関係部署、総合通信局など、様々な職場で働く機会をいただきました。インターネットは世界中とつながっているため、情報通信に関わるプレイヤーは多岐にわたり、本当に多くの方々とのやりとりがあります。また、研究会の事務をしていたときには、学生時代に著書を読んで感動した有識者にお会いすることもできました。国内外、産学官の方々との出会いを通じて絶えず新しい刺激があることが、総務省の情報通信行政に携わる魅力の1つです。

現在の部署では、特に外部の方と接する機会が多く、そのため非常に風通しがよく、自由闊達な雰囲気の中で働いています。時々刻々と新技術、新サービスが登場するICTの分野では、若手職員が最も詳しい内容もあり、自分が世界一の専門家との自負を持って、上司とも積極的に議論し、時代に即した施策の実現に向けて業務にあたることのできるのも大きな魅力です。



週末は、家族で過ごします。やんちゃ盛りの息子は乗り物が好きで、電車、飛行機、自動車何でも大好きです。最近は息子の強いリクエストから鉄道模型で遊んでいます。段々と要求水準が上がってきており完成まで2時間以上かかります。先週の日曜日はモノレールに乗って飛行機を見に羽田空港まで行きました。



## とある一週間

- 月曜日**  
定例の課内ミーティング。他の担当者の業務進捗も欠かさず確認。
- 火曜日**  
翌日の会議準備。最終の微調整だけで済むのは部下のおかげです。
- 水曜日**  
会議当日。会場が省外なので久々に外に出てリフレッシュにも。
- 木曜日**  
調整に手間取っていた案件が無事完了。関係部署の協力で感謝。
- 金曜日**  
安心も束の間、新たな案件が。ダイナミズムとでも呼びましょう。